

森林インストラクター資格取得支援講座

林業 - 講義

2018年4月28日(土) 晴れ 調布市 調布あくろす

FIT友の会主催「森林インストラクター資格取得支援講座」の二日目「林業 - 講義」を調布市の調布あくろすで実施しました。

講義開始前に講師の関さんから「林業」の科目について全体のイメージを掴み、「林業」は面白いと感じてほしいとのコメントがありました。また森林インストラクターの資格取得は合格するぞの強い想いと、何のために資格を取るのか、そして受験勉強は、楽しくやる、効率的にやるのが大切とのアドバイスを頂きました。

講義の導入部では「木と樹」「木と材」、「適材適所」「適地適木」などの林業用語について説明があり、木や樹木に対する関心が高まりました。講義は「山村と農林業」「森林の効用」「森林の育成」「森林の保全」「木材の活用」「特用林産物」の各項目について、詳細な数値データや現場の写真をいっぱい使ったスライドを使用して行いました。

午前は2時間半、午後は3時間半、合計6時間に亘る座学でしたが、途中で息抜きの時間があり、そこでは「適材適所」の実例や、50年育てた立木がたった1300円程度の収入にしかならないことや、一本で家一軒分の値段を超える磨き丸太の話など、木や林業に関わる面白い話題が沢山あり、大変楽しい講義でした。

また、記述式問題に対して回答時間は10分程度で、キーワードの選択2分、残り8分で記述すること、見直しは省いてとにかく300字のマスを埋めることが重要であるとして2分でキーワードを考え列挙する演習も行いました。

初めて受験する受講者にとって、演習で出た林業用語〔林家、森林の齢級など〕自体が判らず、回答のキーワードどころか設問の内容を理解することが難しかったようです。

「林業」は普段耳にすることがない用語が多く、なかなかなじみが持てない科目ですが、今回の講義がスタートです。楽しみながら勉強して貰いたいと思います。

参加者：秋里さん、荒木さん、氏家さん、小野さん、芝原さん、高田さん、福山さん、古谷さん、山口さん（9名）

講師：関 美知夫さん

運営スタッフ：横井さん（写真）、田川さん（オブザーバ）、槇田（事務局）

（報告：FIT友の会運営部会 槇田幹夫）



講師の関さん：「林業」は面白い



受講生とスタッフ



森林の保育：地拵えから間伐まで



間伐の効果：林内の明るさが違います



森林の保全：自治体が行う事業です



講義の息抜き：ン千万円！の磨き丸太の話